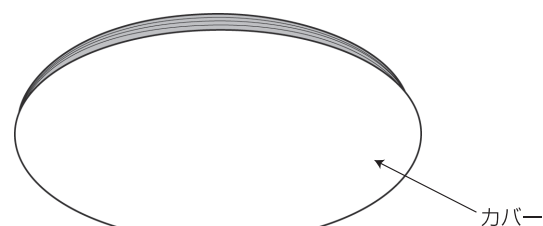
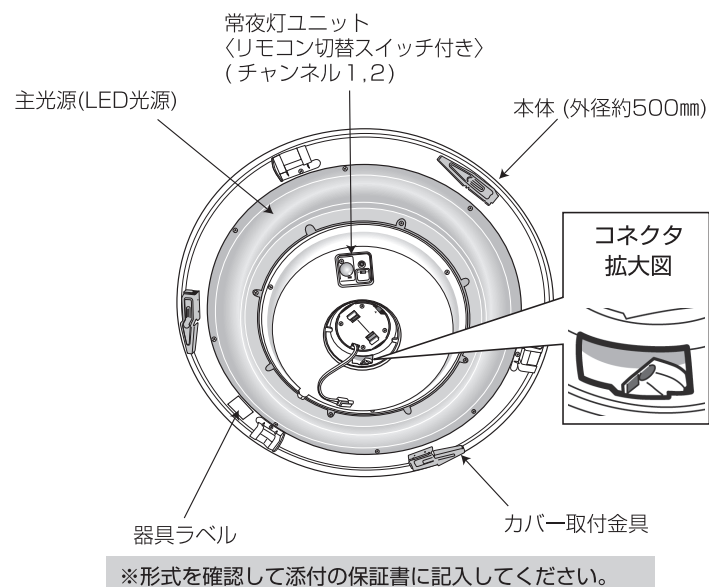
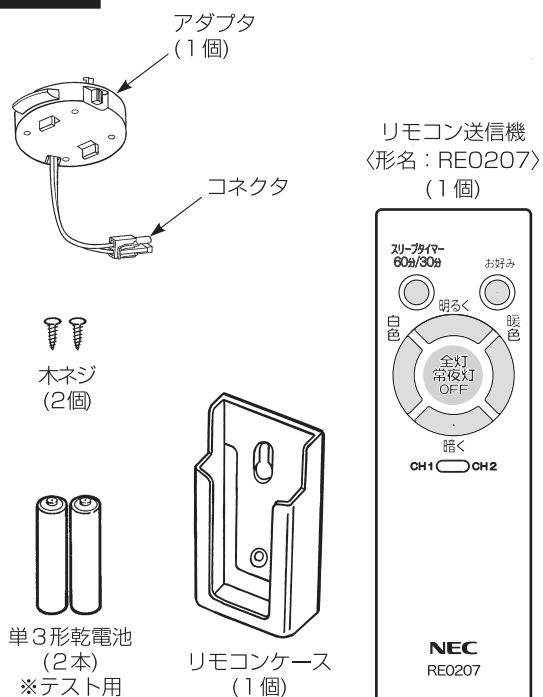


各部の名称

- 一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なります。

付属品

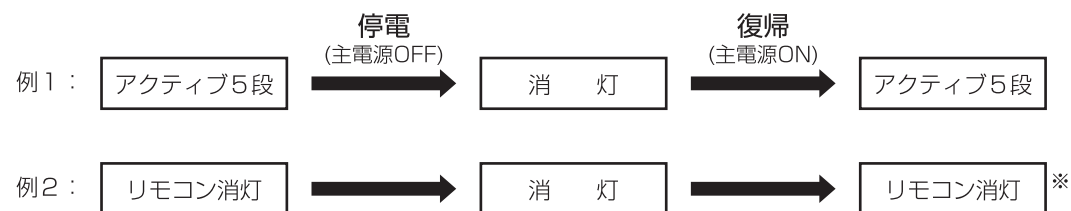


機能紹介

停電復帰機能 (2ページ)	停電復帰後は、停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。 ※壁スイッチ(主電源)をOFF→ONした時も機能します。	お好み機能 (7ページ)	お好みの明るさ・点灯モード(色)でLED主光源を記憶、点灯することができます。
壁スイッチコントロール機能 (3ページ)	壁スイッチの操作で点灯状態を切り替えることができます。	スリープタイマー機能 (7ページ)	リモコン送信機のワンボタン操作で30分後又は60分後にLED主光源を自動で消灯させることができます。 (フェードアウト機能つき)
リモコン機能 (6・7ページ)	リモコン送信機で各種設定や操作ができます。		

停電復帰機能

- 停電復帰後は、停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。



※リモコンで消灯させた状態で、停電した場合、停電復帰時は、消灯状態になります。

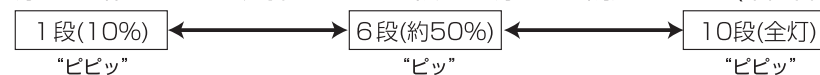
注) 落雷などによる短い停電(約2秒以内)が発生した場合、点灯状態が切り替わることがあります。

リモコン機能2 (明るさを切り替えたいとき)

- 明るく/暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



- 明るく/暗くボタンを短押しすると1段ずつ明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)

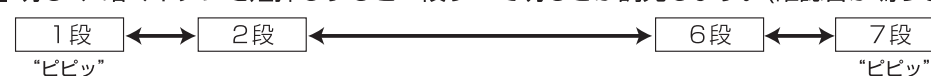


※常夜灯も調光することができます。

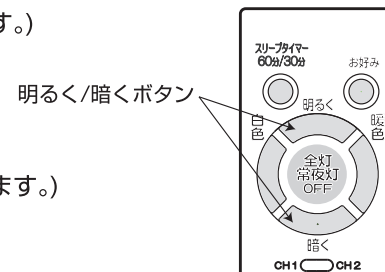
- 明るく/暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



- 明るく/暗くボタンを短押しすると1段ずつで明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



注) 壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行ってください。



お好み機能

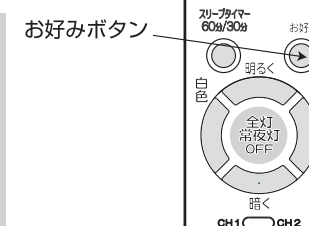
- お好みボタンを押すと、お好みの明るさ/点灯モード(色)で主光源を記憶・点灯させることができます。

- 明るさ/点灯モード(色)を記憶させる方法



- 記憶した明るさ/点灯モード(色)で点灯させたい場合

お好みボタンを短押しする。



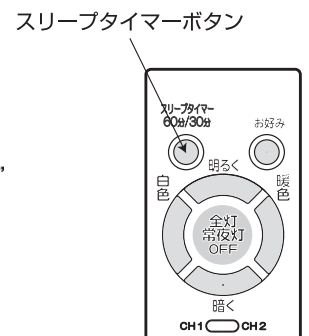
スリープタイマー機能

- 60分後、または30分後に主光源を自動で消灯(フェードアウト)することができます。

スリープタイマーのセット／解除方法

	《設定方法》	《確認方法》
60分後に消灯させたい場合	スリープタイマーが設定されていない状態で、スリープタイマー 60分/30分 ボタンを1回押す。	確認音 “ピッ” 【設定完了】
30分後に消灯させたい場合	スリープタイマーが設定されていない状態で、スリープタイマー 60分/30分 ボタンを3秒以内に続けて2回押す。	確認音 “ピッピッ” 【設定完了】
スリープタイマーを解除したい場合	スリープタイマーが設定された状態で、スリープタイマー 60分/30分 ボタンを1回押す。	確認音 “ピーッ” 【解除完了】

※フェードアウト機能は解除できません。



《注意事項》

- ・リモコン以外ではスリープタイマーの設定はできません。
- ・設定を変更したい場合はいったんスリープタイマーを解除し、設定しなおしてください。
- ・スリープタイマーが設定されているかどうか、本体及びリモコンで確認することはできません。
- ・確認音が鳴らなかった場合は、再度、設定をしなおしてください。
- ・スリープタイマー設定中に、リモコンや壁スイッチで消灯させた場合、または停電などで電源が2秒以上OFFになった場合は、スリープタイマーが自動的に解除されます。
- ・主光源が消灯している時は、設定できません。

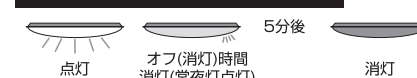
各タイマーで消灯させる時、常夜灯の点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

チャンネルスイッチがCH1の場合



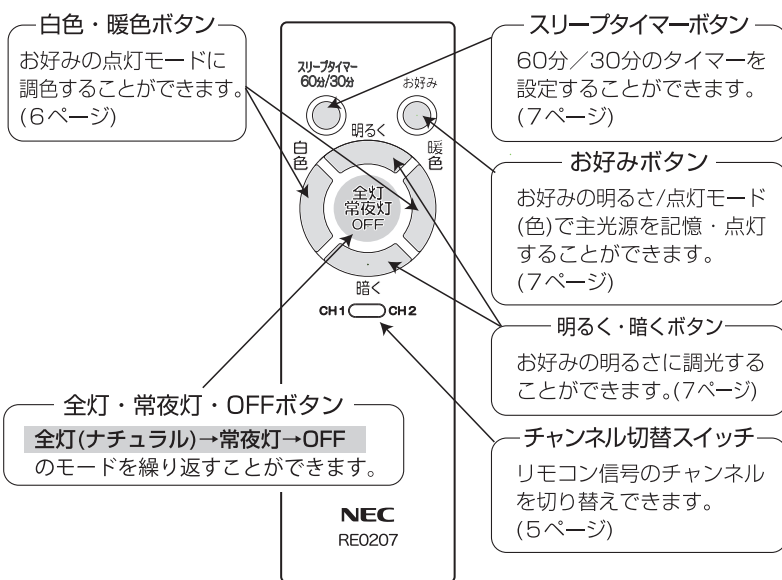
常夜灯を **点灯** させたいときに
ご使用ください。

チャンネルスイッチがCH2の場合



常夜灯を **消灯** させたいときに
ご使用ください。

リモコンの名称



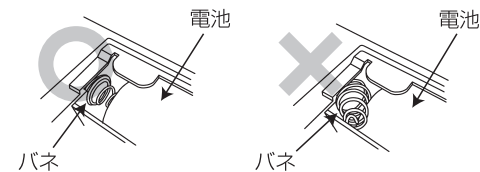
リモコン使用の準備

＜電池の入れ方＞

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながらか手前に引いて外してください。
2. 単3形マンガン電池(推奨)2本の⊕⊖の向きを合わせて挿入する。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

注意

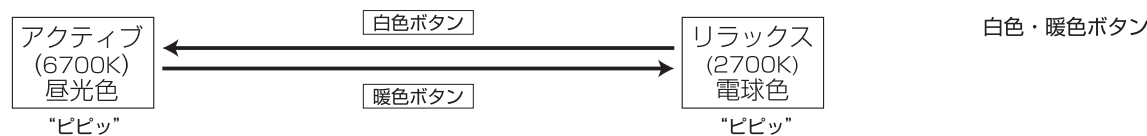
カバーをななめに挿入して無理に押えたりすると、カバーのツメが破損する原因となります。
電池ケースのパネがまっすぐになるようマンガン電池(推奨)を挿入してください。



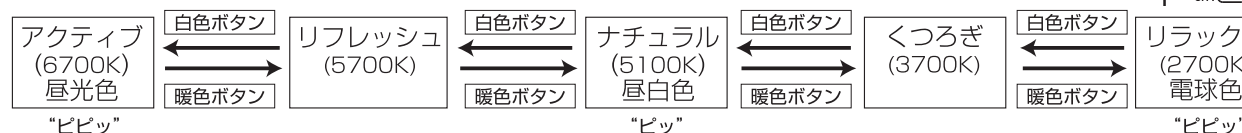
リモコン機能1(点灯モード(色)を切り替えたいとき)

白色・暖色ボタン調色(お好みの点灯モード(色)「5段階」に切り替えができます。)

- 白色・暖色ボタンを長押しすると連続で点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)



- 白色・暖色ボタンを短押しすると1段ずつ点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)



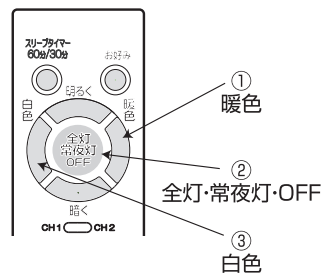
注) 壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行ってください。

＜デモモードの解除方法＞

LED光源ユニットが調光・点灯モード(色)の切り替えを繰り返す場合は、デモモード状態になっています。(故障ではありません。)

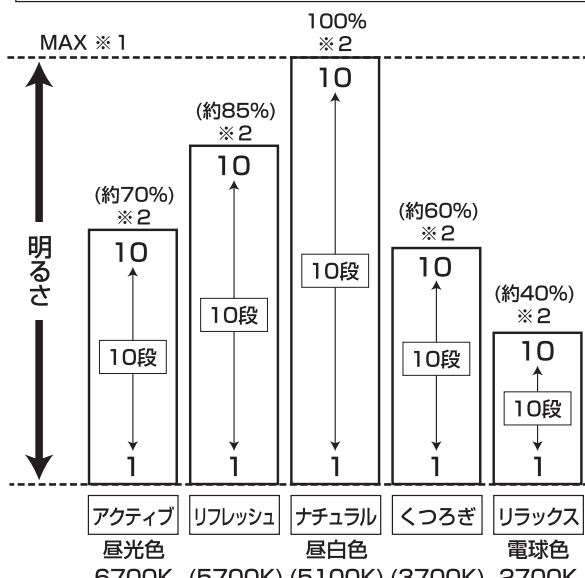
下記の手順でデモモードを解除してください。

1. 器具本体とリモコンをチャンネル2に設定する。(5ページ参照)※1
2. 常夜灯点灯状態に切替えてから、壁スイッチ(主電源)をOFFにする。
3. 約30秒後、壁スイッチ(主電源)をONにする。(常夜灯が点灯します。)
4. 5秒以内にリモコンボタンを右図の①→②→③の順番に1回ずつ押す。
5. 確認音「ピピピッ」が鳴り、デモモードが解除されます。※2



- ※1: リモコン(CH1)では解除できません。
- ※2: 確認音「ピピピッ」が鳴らない場合は、解除できていません。再度、デモモードの解除を行ってください。

各点灯モードにおける全灯時(10段)の明るさイメージ



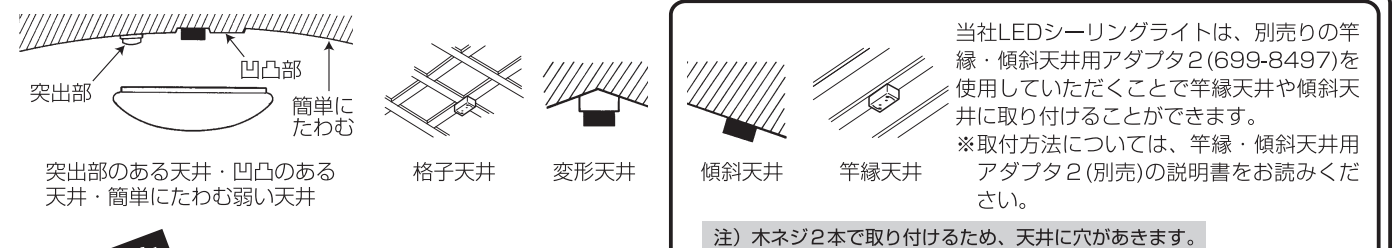
※1: 各点灯モードにおける明るさはナチュラル全灯時が一番明るくなります。

※2: ナチュラル全灯時を100%として相対比較した参考数値となります。(機種により多少のバラツキがございます。)

使用上のご注意

- 本体を分解したり、改造しないでください。火災や故障などの原因になります。
- 精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
- 点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがありますが、器具の故障ではありません。
- 本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。他の家電製品には使用できません。また、他の家電製品のリモコン送信機は使用できません。
- 器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても動作しない場合があります。
- 壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても動作しません。
- この器具はリモコンスイッチで消灯しても電源回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。
- 照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
* リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が動作しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
- リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
* 壁に取り付けたリモコンケースに入れた状態などで、リモコン操作を行うと動作しない場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
- テレビを視聴している時は、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 天井や、壁、床の材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。
- マンガン乾電池(単3形)をご使用ください。
- 電池寿命の目安(1日10回使用の場合)
マンガン乾電池: 約6ヶ月
(付属の電池はテスト用です。新しい乾電池に交換してください。)
- ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
- 乾電池は、+・-の極性を正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合、乾電池の液漏れによる故障の原因となるので、乾電池を外してください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

取り付けできない天井

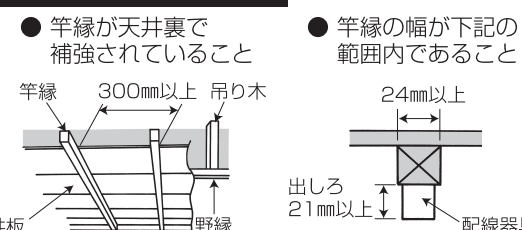


要チェック

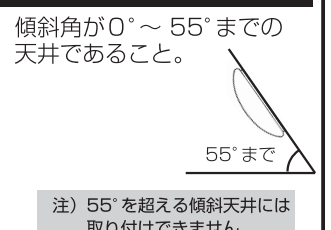
！必ず守る

竿縁天井・傾斜天井に器具を取り付ける場合は、取付場所を確認してください。

竿縁天井に取り付ける場合

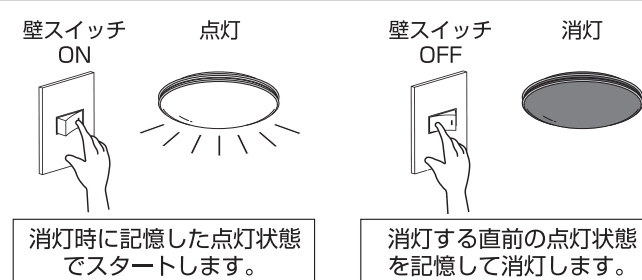


傾斜天井に取り付ける場合



壁スイッチコントロール機能(壁スイッチで照明器具を操作したいとき)

点灯・消灯する

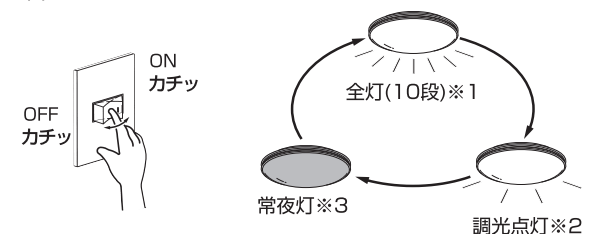


注意

- リモコンで消灯させた状態で壁スイッチをOFFにすると、次に壁スイッチをONした時は消灯状態となります。
- 壁スイッチでは点灯モード(色)を切り替えできません。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

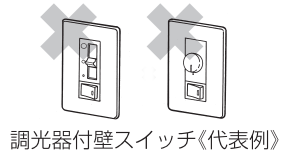


- ※1) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)
- ※2) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさ(明るさが全灯(10段)の場合は6段)
- ※3) 最後に使用していた明るさ

取付上のご注意

注意

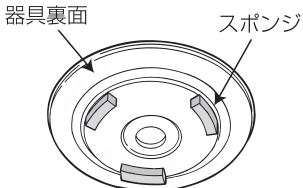
本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器やセンサースイッチが接続されている場合、LEDが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。接続されている場合は必ず調光器やセンサースイッチを取り除いてください。(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)



調光器付壁スイッチ《代表例》

注意

器具裏面についている黒いスポンジ(3コ)は、取り外さずにご使用ください。



器具の取付方法

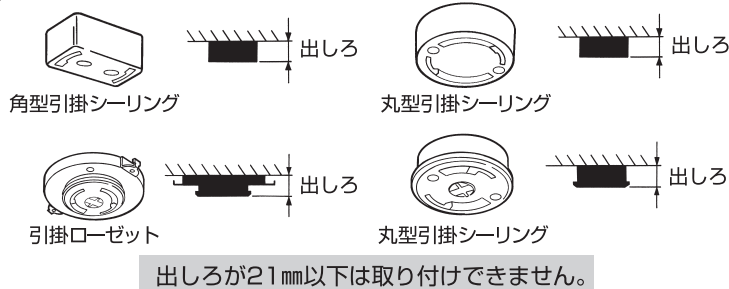
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

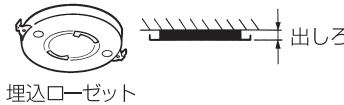
・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

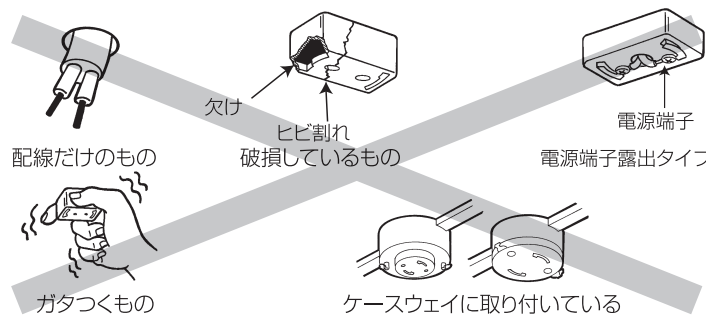


出しろが21mm以下は取り付けできません。



出しろが10mm以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

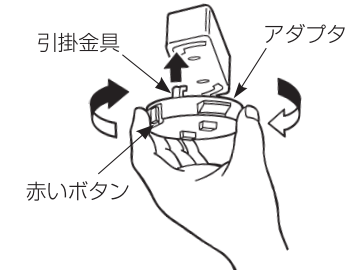


必ず取り付け可能な引掛シーリングに交換してください。交換には電気工事士の資格が必要です。交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。(引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。器具が落下する恐れがあります。)

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切ってください。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、右(矢印方向)方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

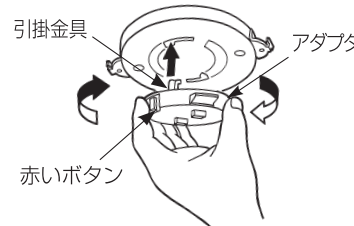
取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

警告

落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、右(矢印方向)方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

警告

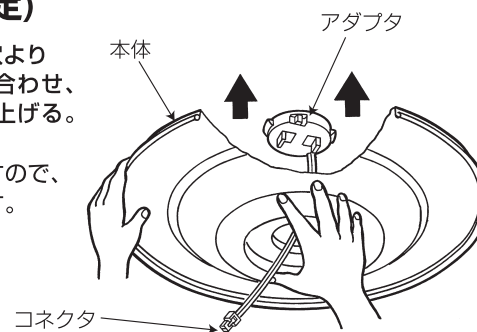
落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

① 1段押上げ(仮固定)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。



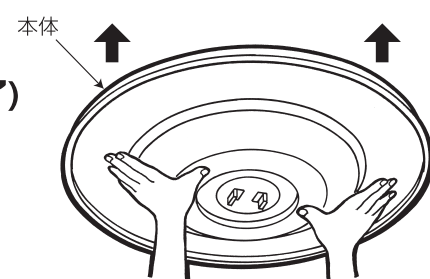
警告

まだ本体の取り付けは不完全です。この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

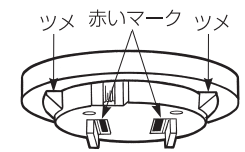
② 2段押上げ(取付完了)

さらに強く押し上げる。



要チェック

- ① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
- ② 本体のグラつきがないことを確認する。

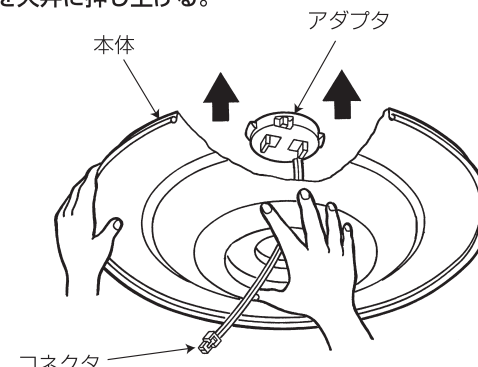


これで本体の取り付けは完了です。

3. 本体を取り付ける

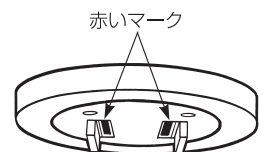
① 1段押上げ(取付完了)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。



要チェック

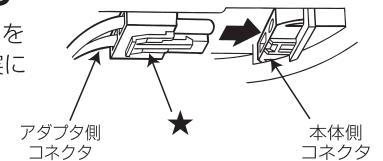
- ① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
- ② 本体のグラつきがないことを確認する。



これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。



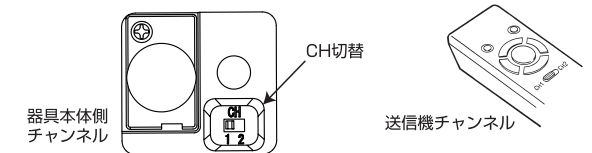
★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

5. チャンネルを設定する

■ 1台のみ操作する場合

器具本体側のチャンネルとリモコン送信機チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。

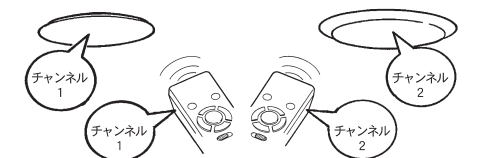
(出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信機共、チャンネル1に設定しています。)



■ 2台の器具を別々に操作する場合

(1つのリモコン送信機で2台の器具を別々に操作することができます。)

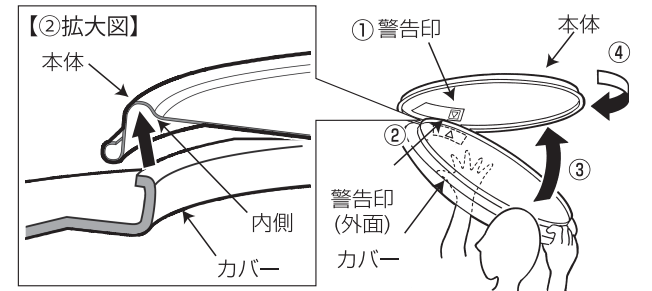
1台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。リモコン送信機のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。



6. カバーを取り付ける

- ① 本体の警告印(△)にカバーの警告印(△)を合わせる。
- ② 本体の内側にカバーを合わせる。
- ③ カバーを水平に持ち上げて、本体に押し付けるように密着させる。
- ④ カバーを右(時計回り)にパチンとロック音がするまで回す。

※カバーを取付けずに点灯するのはおやめください。



警告

落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。カバーは無理に取り付けしないでください。カバーの割れ・落下によるけがの原因となります。